

病院広報の社会的役割と 包括ケア時代の地域リレーション

第173回 企画広報塾・総合講座<京都1泊>開講

2日間すべてのセッションを受講の方には、一挙に10単位認定の準備をいたします。

開講趣旨

病院や介護施設が「広報する意味」が理解できれば、よりフレキシブルな情報公開が可能になるばかりか、医療・介護サービスが果たす社会的役割や存在価値が向上するのではないのでしょうか。広報によって情報のひかりが射し込み、さまざまな施設が目指す医療スタンスが明確にできます。立ち位置が決まれば伝え方や聴き方の質も向上します。

ところが広報と広告の違いや宣伝とコミュニケーションの違いすら十分に理解されない現場では、患者さんへの情報提供はもちろぬ、地域での連携も形ばかりとなりがちです。

本講座では、施設を利用する個人へのコミュニケーションと同時に、組織としてどうあるべきかの原則を多面的に追求します。当然のこととして、医療サービスの質への貢献や生産性、ブランディングなど、より広い視野から組織戦略的な経営感覚を意識した内容となっています。広報や経営企画はもちろん、地域連携や専門職の受講をお進めします。

講座テーマ

- 病院広報の基本知識（リテラシーの視点を含めて）
- 医療サービスの本質と生産性を理解しよう
- 医療組織におけるコミュニケーション戦略とは
- 地域社会との対話（ダイアログ）の進め方
- 医療・介護のエンゲージメント構築を考える 他

2日間の研修計画の概要

1日目は、10時のオリエンテーションに始まり、まず午前中は「病院広報の基本テキスト」による講義およびワークショップ。その後は、デザインソフトや印刷の知識について学び、夕食を共にしながら、プロのアートディレクターらと関係づくりを行います。

2日目は、午前中、院内掲示について情報を整理したあと、右記の菅原先生に広報についての大きな広報の流れと実情のお話を聞いた後、病院広報の現場で力を発揮している様々な方々にも加わっていただき話を盛り上げます。事務局では、フルに受講した方に、10単位認定を準備しています。

■開講日

平成26年8月

開始 **30日(土) 11時より**
終了 **31日(日) 15時まで**

■会場

京都市下京区 西本願寺付附属施設

聞法会館 会議室

(講座・宿泊ともこの施設を利用します)

■主な講師

日本広報学会理事・元宝塚大学看護学教授 菅原正博氏

■講師プロフィール

大阪市立大学経済学博士・元宝塚大学専門職大学院デザイン経営研究科長。現在は、宝塚大学看護学部で「ヘルスケア・マーケティング」「医療と経済」担当。代表的著作「広報最高責任者(CCO)がある。

■指導進行 日本HIS研究センター 代表理事 石田章一ほか、病院広報管理指導員(研修中)の支援を予定。

■対象

病院管理職・広報/地域連携実務など

■定員 15名(予約が埋まり次第締切)

■受講料

HIS会員 32,400円/1名

非会員 43,200円/1名

(いずれも講座・宿泊・食事3・税込み)

★終了後、希望者による京都市街タウOUCHINGを行います。(当日受付)

■受講申込・お問い合わせは下記へ

日本HIS研究センター(NPO)

<http://www.j-his.jp/>

でんわ 075-353-1801

Fax. 075-353-1733

Mail info-his@j-his.jp



受付 FAX 075-353-1733



HIS 広報プランナー養成講座 受講申込書

下記の通り受講を申し込みます。

年 月 日

法人名または施設名

いずれかに○印をつけてください

【HIS 会員／一般】

派遣責任者(お役職)

お名前

印

受講者名①

(部署・職種)

受講者名②

(部署・職種)

受講者名③

(部署・職種)

所在地(〒 -)

TEL: ()

FAX: ()

E-mail: @

※講座の連絡はこちらのアドレスにメールさせていただきます。

◆お申し込み前に必ずお読みください

- お申し込みと同時に、下記口座へお振り込みください。受講料の納付が確認でき次第、受講票をお送りします
- お申し込みはなるべく、8月20日(水)までをお願いします
- 登録後のキャンセルはご容赦ください(キャンセルの場合は代理の方の受講をお願いします)
- 受講者が10名に達しない場合は中止する場合がありますので、予めご了承ください

◆お振込口座

三井住友銀行京都支店 (普通) 8176104 トクヒ)日本 HIS 研究センター